

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1	室内騒音レベル	-	-	3.0	-			
2	設備騒音対策	-	-	-	-			
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能	-	-	3.0	-			
2	界壁遮音性能	-	-	3.0	-			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	3.0	-			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温	-	-	3.0	-			
2	負荷変動・追従制御性	-	-	-	-			
3	外皮性能	-	-	3.0	-			
4	ゾーン別制御性	-	-	-	-			
5	温度・湿度制御	-	-	-	-			
6	個別制御	-	-	-	-			
7	時間外空調に対する配慮	-	-	-	-			
8	監視システム	-	-	-	-			
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1	昼光率	-	-	3.0	-			
2	方位別開口	-	-	3.0	-			
3	昼光利用設備	-	-	3.0	-			
3.2 グレア対策								
1	照明器具のグレア	-	-	-	-			
2	昼光制御	-	-	3.0	-			
3	映り込み対策	-	-	-	-			
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質	-	-	3.0	-			
2	アスベスト対策	-	-	-	-			
3	ダニ・カビ等	-	-	-	-			
4	レジオネラ対策	-	-	-	-			
4.2 換気								
1	換気量	-	-	3.0	-			
2	自然換気性能	-	-	3.0	-			
3	取り入れ外気への配慮	-	-	3.0	-			
4	給気計画	-	-	-	-			
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視	-	-	-	-			
2	喫煙の制御	-	-	-	-			
Q2 サービス性能								4.3
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1	広さ・収納性	3.0	1.00	-	-			
2	高度情報通信設備対応	-	-	3.0	-			
3	バリアフリー計画	-	-	-	-			
1.2 心理性・快適性								
1	広さ感・景観	-	-	3.0	-			
2	リフレッシュスペース	-	-	-	-			
3	内装計画	-	-	-	-			
1.3 維持管理								
1	維持管理に配慮した設計	-	-	-	-			
2	維持管理用機能の確保	-	-	-	-			
3	衛生管理業務	-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1	耐震性	5.0	0.48	-	-			
2	免震・制振性能	5.0	0.80	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数								
1	躯体材料の耐用年数	3.7	0.33	-	-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	4.0	0.23	-	-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	4.0	0.23	-	-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.09	-	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.08	-	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔	5.0	0.15	-	-			
		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.4	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	非常用発電を備え、浸水防止対策をおこなった	4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	通信手段の多様化を図り、浸水防止対策をおこなった	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				4.4	0.48	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり				5.0	0.31	-	-	
	1	階高のゆとり	階高6.59m	5.0	0.60	3.0	-	
	2	空間の形状・自由さ	耐力壁を設けない計画とした	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			倉庫部の荷重を14700N以上とした	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性				3.4	0.38	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	ケーブルラックを使用し貫通部は箱抜耐火処理とした	5.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	バックアップ設備のスペースを確保した	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制				-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.29	-	-	3.0
	2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			CEC/L=0.87	3.4	0.43	-	-	3.4
	集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=9.6%	3.4	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4 効率的運用				4.0	0.29	-	-	4.0
	4.1 モニタリング		電力監視システムを設置し各エリアごとのモニタリングを行う	4.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		デマンド監視を行い注意喚起を行う	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1 節水		省エネ機器を採用し女子トイレには擬音装置を設置する	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				4.3	0.63	-	-	4.3
	2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		杭:高炉セメント	5.0	0.21	-	-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		再生骨材の路盤材利用、グリーン調達 PBボード、岩綿吸音板	5.0	0.21	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		間仕切り乾式工法の採用	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.8	0.22	-	-	3.8
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		指定化学物質を含まない建材を採用	5.0	0.32	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
	1	消火剤	ハロゲン消火を使用しない	4.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率が参考値に対して96%	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
	2.1 大気汚染防止		燃焼系機器の不使用	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	現地交通調査を実施し十分な交通量を確認した	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	分別方法のルールを作り計画的な回収を行う	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	